

平成 28 年度 第 2 回 磐田市歴史文書館運営審議会

日時 平成 29 年 1 月 30 日 (月) 13:30~15:26

場所 磐田市竜洋支所 2 階 会議室

出席者 市歴史文書館運営審議会委員 7 名

小杉委員 鈴木潔委員 高橋委員 市川委員 杉浦委員 玉田委員 鈴木博雄委員
出席職員 教育委員会事務局職員 7 名

村松教育長・秋野教育部長

高梨課長・飯田館長・山室副主任・名倉囑託・鮫嶋囑託

傍聴人 なし

議事

1. 報告事項

(1) 非現用公文書の移管選別状況について

〔事務局説明〕 (質問等はなし)

(2) 企画展について

〔事務局説明〕

委員 来場者アンケートから、「研究意欲がわいた」「もっと調査したくなった」など、展示を見て活力や元気が得られた、そんなものを感じました。

委員 毎回、来館者数の報告・意見の報告があるが、これらの結果を検証し、次の企画展へと生かしていく視点が欠けていると思う。

会長 アンケート用紙の一番下に、「帰宅後、気が付いたことがあったらファックスで連絡をください」という一文を入れてみたらどうか。

委員 ファックスがない人もいる。電話でもいいし、来ていただいてもいい。

会長 要はアンケートだけで終わらせないこと。ここで繋がりができれば、次に繋がったり、内容も深まって、記録として残せる可能性がでてくる、そんな感じがします。

〔事務局〕 次回の展示会から、アンケート用紙の下部に「家に帰ってから気が付いた点があったら連絡をください」ということに加え、「家の取り壊しの際などで、不要になった古い文書でお悩みの場合も文書館に電話をください」ということなども記載していくように考えていきたい。

委員 古文書の寄贈はもっと積極的に行われるとよいと思います。

会長 企画展の来場者には直接話しができる。この機会を利用して地域から情報が入ってくるような機会を作ったらどうかなと思いました。

(3) レファレンス利用状況について

〔事務局説明〕

委員 福田関係が 5 点程あるが、答えられなかったものはあったか。

〔事務局〕 ありません。

委員 夏休みの自由研究のお子さんが来ているのは、すばらしい。ごみ対策課では、夏休みにクリーンセンター見学会を行っているが、ここも同じような

ことを計画すれば、親しまれるし、周知されるのではないかと思います。
〔事務局〕 文化財課の事業で、小学生を対象とした「ふるさと探検隊」がある。年間
通し事業で、20～30人の児童が参加するので、その中へ組み込んだり、
隣の郷土資料館の見学と組み合わせることも可能と考えられるので検討
していきます。また、学校が市のバスを使用する「バス事業」の中に、歴
史文書館を利用するメニューを提示し、利用していただくことも検討して
いきたいと思っています。

会長 具体的には、どんな内容ですか。

〔事務局〕 去年は、獅子ヶ鼻公園に行き、観光ボランティアにその歴史を説明して
もらったり、トレッキングコースを歩いたりしました。今年も、磐田原PA
南の発掘現場に行き、掘ったり、探検体験をしてもらいました。磐田は歴
史が長く、材料はいろいろ揃っているの、子どもたちに興味を持って
もらえるような企画を考えていきたいと思っています。

委員 市内にはいろいろな施設があつて、それに関わる仕事をしている人がいる
ということ、子どもたちに知ってもらいたいと思います。

〔事務局〕 ふるさと探検隊の他に、市のバスを使い、学校を離れ、各施設を見学する
バス事業というものがあるので、場合によればこの中で歴史文書館を紹介
することも可能だと思います。

会長 いいアイデアだと思います。困ったことがあつたら、ここへ来ればレフ
ァレンスができるということを知ってもらえればいいかなと思います。

委員 レファンレンスは、個人的な調査への回答が多いと思うが、中には多くの
人に知らせたい内容もあると思う。そういうことを、知らせることも文書
館として大事なことじゃないかと思う。質問の内容と、こんなふうに回答
しましたよということなどを、「文書館だより」などで、知らせていったら
どうか。

〔事務局〕 「文書館だより」や「文化財だより」の中で、多くの人に関心を持って
いただけるような内容のものを選択し、お知らせしていきたい。

例えば、香川大学の准教授が鈴木浦八の耕地整理関係で7月の5日間程、
終日詰めて調査して行きました。常葉大学の教育学部の先生は井通尋常小
学校の資料を1週間程調査し、今年4月に「明治30年代教員の教育活動
と職員会議」という本を出版する予定と聞いています。また、昨年、若い
方が旗本関係で調査に来られ、それを基に「姫街道の宿 市野と周辺の歴
史」という本を11月に刊行し、寄贈してくれました。

会長 すごい成果があつたんですね。これらを、文書館だより等に載せれば、質
問した人の内容が市民共通の財産になるんじゃないかと思っています。

(4) 地域史料の受入れ整理状況について

〔事務局説明〕

会長 寄贈の申し出は所有者からあるのですか。

〔事務局〕 基本的には、所有者ご本人からの申し出です。

会長 ある程度、周知されているということですね。これが全市民に浸透してい

けば、古いものが捨てられないで、文書館に先ず声をかけてくれる、そういう雰囲気になってくれたら嬉しいと思います。

協議事項

・企画展について

(1) 平成29年度事業計画（案）

〔事務局説明〕

会長 29年度の企画展のテーマをここで決めていきたいと思います。第19回企画展は前回の審議会で「見付宿の移り変わり」で決定していますので、第20回企画展を「寺谷用水の歴史」にするか、「遠州の俳諧」にするか、どちらにしましょう。

委員 27年度から磐田市で俳句大会をやっているが、関連性が分からなかったが、関わりが分かり認識を新たにした。今後もやるとしたら、この点を踏まえて担当課はやるべきと感じました。

会長 いわた俳句大会は全国的な素晴らしい選者が見えるので、その大会とコラボさせてやったらどうかという提案ですね。

〔事務局〕 加茂の寺田良毅さんという方が、「遠州の俳諧」、「野口在色の研究」という本を出し、文書館とも繋がりが多くある。小学校の教員で加藤知碩を研究している人もいる。軸も沢山あり、展示は十分可能です。

委員 文化財だよりで、寺谷用水を取り上げていたので、記憶に新しい寺谷用水を先にやってほしい。

会長 寺谷用水を考えたとき、水が流れている夏がいいのか、流れていない冬にやったらいいのか。寺谷用水を歩いてみようということになったら、水がある時がいいのか。つい最近、静岡県立大学の元教授が寺谷用水の古文書があるので寄贈してくれるという話があった。そうなったら、それも公開したらどうか。

委員 俳諧の方がお客さんを呼べると思う。用水は地味だから。

委員 今の時代はピンとこないかもしれないが、江戸時代から明治・大正・昭和と、農地が生活の中心だった。用水がなかったら餓死とか、そういう形にもつながっていったと思う。重要度からいけば、寺谷用水が先だと思いません。

委員 寺谷用水は先人が非常に苦勞して作り、この地域にとってはそれこそ生活がかかった、非常に有用な用水であるという意味においては良いテーマだと思います。寺谷用水の役割、今現在果たしている恩恵を皆さんに再認識してもらいたい意味もあってよいのでは。両方いいテーマで、両方やってもらいたいが、強いて言えば、寺谷用水を先で、次に俳諧にしたらどうでしょうか。

委員 寺谷用水は高木用水に分かれているので、そこまで広げると材料は多い。俳句では見付の画家が描いた額があるが、活用できないか。

会長 鮫島の寺、獅子ヶ鼻公園の観音堂等、俳額はかなりあると思う。明治になってから豊西の松島十湖が広めたため、遠州地方には沢山俳額が作られているし、句碑も沢山ある。浜松市東区が俳句の里と言って、全国的に募集していて、磐田市にも沢山あります。教育長は、どちらがいいと思いますか。

教育長 両方見てみたいが、冬の時期に俳諧をやっていただけると、展示期間は少し調整しなくてはならないが、俳句大会に関係し、全国の方々に情報発信できるなとも思います。

会長 それでは、第 20 回企画展は俳諧をやるということでよろしいでしょうか。

委員 「異議なし」の声あり。

会長 第 19 回は見付宿、第 20 回は遠州の俳諧ということに決定しました。

(2) 歴史文書館管理運営要領の一部改正 (案)

〔事務局説明〕

会長 移管された文書はどんどん公開しましょうという主旨だと思います。非常に良いことだと思います。よろしいでしょうか。

委員 「異議なし」の声あり。

会長 運営要領の一部改正は承認されました。